〔学科目区分：作曲アレンジ／シンガーソングライター〕

番号：学科目名	21	アナリーゼ	４単位	通年
指導講師	真島 圭			
授業のテーマ	様々なジャンルや時代の音楽を取り上げ、それらの楽曲の仕組みを考えます。			
授業計画及び内容	アナリーゼとは“楽曲分析”という意味です。 楽曲がどのように成り立っているかを、様々な観点から勉強していきます。 形式は２部形式、３部形式など小さな形式からはじめ、ロンド、変奏曲、フーガ、ソナタ形式まで取り上げ、ポップスの形式などにも言及します。 その他さまざまな種類の音階やコード進行にも触れ、曲中の「仕掛け」を読み解いていきます。 ピアノ曲やオーケストラ曲、ポップス曲など、幅広いジャンルの曲を取り上げます。			
教材・参考書	適宜プリント配布。			
成績評価の方法	後期に勉強の成果としての作品提出を課す予定です。			
履修上の指示	楽典や和声、コードの知識が備わっているとより理解しやすい授業ですが、曲を鑑賞することが多いので、初心者の方でも受講可能です。			

〔学科目区分：作曲アレンジ／シンガーソングライター〕

番号：学科目名	22	和声入門（クラシック/ポピュラー）／ 和声総合（クラシック）	４単位	通年
指導講師	園田 優 ／ 真島 圭			
授業のテーマ	入門：ハーモニー学習の基礎 ／ 総合：機能和声の実施と研究			
授業計画及び内容	入門：「和声」という言葉だと、クラシックのハーモニー理論を連想するが、具体的な和声学を学ぶ前に、現代のポピュラー音楽にも、クラシックの音楽にも使用されている「和声」を聞いたり、体験したりしながら、ハーモニーの構造を少しずつ紹介していく。講義の他、ハーモニーの実践も行うことで、ハーモニーの根幹を学ぶ。コードも和声も、理論の理解と実践は大変難易度が高い部分があるため、具体的な理論構造の理解はこの授業では扱わず、「こんなハーモニーの働きがあると、こんな風に音楽が変化する！」というような、ハーモニーによる効果を体験する授業とする。具体的な機能和声の実施はこの授業では行わないため、機能和声の技術習得を目的とする者は「和声」の授業履修を薦める。 総合：クラシックと呼ばれる時代の音楽(J. S. バッハ～J. ブラームスくらいまでの時代)の和音の進行の「文法」を理解することが目的になります。 内容と開講時間の関係で少人数の授業になることが多く、原則個別対応の形をとっています。 新規の方は仮授業や初回授業で勉強の進め方当日個別に相談させていただいてから方針を決めるのが良いと思われます。急いで教材を購入されなくて大丈夫です。 Aパターン 赤本と呼ばれる「和声 理論と実習 Ⅰ」(池内友次郎他著・音楽之友社)を使用し、順調にいけば一年の授業でヤマハやカワイのグレード試験に対応できるくらいまで進む。 Bパターン ・はじめて勉強する人から学習経験者まで幅広いレヴェルの人に対応する ・和音分析中心に進める 等の理由により、担当講師が用意した基本的なカデンツ課題の実習から始め、和音分析課題へと移行し、最終的には実作品(クラシック)の和声分析へと進む。 Cパターン(経験者の場合) ・ヤマハ、カワイのグレード試験の和声課題に集中して取り組む。必要であれば他の課題も並行する。 ・「和声 理論と実習」の課題を継続して添削 ・実作品の和音分析に取り組む。 ・その他希望する学習内容があれば可能な限り対応します。			
教材・参考書	各授業によって異なる。			
成績評価の方法	各授業によって異なり、「和声」理論と実習Ⅰ 音楽之友社（赤い和声の教科書）他の参考書を薦める場合もあります。			
履修上の指示事項	各授業によって異なる。			

〔学科目区分：作曲アレンジ／シンガーソングライター〕

番号：学科目名	22	和声入門（ポピュラー）	４単位	通年
指導講師	内田 一広			
授業のテーマ	和声の基本となるコードの使い方を鍵盤を使って学習する			
授業計画及び内容	メジャースケール（長音階）とその上にできるコードの使い方を、 一つ一つの音のつながりと組み合わせから考えます。 童謡唱歌やポップスのメロディーを使ってコードの付け方の基本を学びます。 ①二音のパターン「型（かた）」に慣れよう（２度、３度、５度、７度、オモテとウラ） ②ベースの動きで音楽を作ろう（ドミナントモーション） ③音階の音を重ねてみよう（３音ダイアトニックコードの種類） ④コラールを作ろう（３音ダイアトニックコードの機能と連結） ⑤スムーズな連結を工夫しよう（転回形とボイスリーディング） ⑥メロディーにコードをつけよう（ハーモナイズ） ⑦終わった感じにする方法（ドミナントモーション） ⑧「ソシレ」より「ソシファ」ドミナントセブンスコードを使おう（４音コードの始まり） ⑨12のkeyを身近なものにしよう ･３音コード（トライアド）中心に話を進めます。 ･授業ではキーボード使って実際に音出しをします。 編曲の基本となる最低限のキーボードスキルも学びます（鍵盤楽器専攻以外の人でも取り組めるレベルです）。			
教材・参考書	特になし			
成績評価の方法	出席状況と課題への取り組み			
履修上の指示事項	授業の中で行うことが大きな比重を占めるので、まず出席することが重要です。			

〔学科目区分：作曲アレンジ／シンガーソングライター〕

番号：学科目名	22	和声総合（ポピュラー）	４単位	通年
指導講師	内田 一広			
授業のテーマ	４音コードの仕組みを理解し、効果的な使い方と音楽的展開を学習する			
授業計画及び内容	４音コードの理解を通じて、ポピュラーミュージックに必須のオプションである様々な定番コードの使い方を学びます。 ①４音ダイアトニックコードの種類と機能 ②４音ダイアトニックコードを使ってコード進行を分析してみよう（アナライズ） ③サブドミナントコードを効果的に使おう（Ⅱm7とⅤ7のカップリング） ④４音コードでコラールを作ろう（機能と連結、ボイスリーディング） ⑤メロディーとコードを合体させよう（効果的なボイシングとは） ⑥ワンパターンから新しい世界へ（リハモナイズ） ⑦裏コードを使おう（Ⅴ7とbⅡ7） ⑧どこでもドミナント（セカンダリードミナント） ⑨同主短調からの借用（サブドミナントマイナーコード） ⑩sus 4とテンション ･４音コードにある程度慣れていることが望ましいです。 ･同日前時開講の【入門】から連続して履修する場合は、各自の習熟度を考慮して授業を進めていきます。 ･メロディーとコード記号をもとにした編曲や伴奏に必要なキーボードスキルも合わせて学びます。 ･音楽療法や幼児教育・保育で求められるキーボード伴奏に必要な技術が身につきます。			
教材・参考書	特になし			
成績評価の方法	出席状況と課題への取り組み			
履修上の指示	授業の中で行うことが大きな比重を占めるので、まず出席することが重要です。			

〔学科目区分：作曲アレンジ／シンガーソングライター〕

番号：学科目名	23	対位法	４単位	通年
指導講師	園田　優			
授業のテーマ	メロディー作曲とメロディーのハモらせ方を学ぶ			
授業計画及び内容	対位法は、昔からある作曲技法の一つで、歌詞やリズムの影響なく、音と音をつないで作曲する方法をみつめる方法です。 昔からあるルールはもちろん、現代のメロディー作曲と共通するところ、全然ちがっているところなどを比べ、学習していきます。 よく、「クラシックの作曲理論なんて、役にたつの？」という方がいますが、クラシックだからこそ基本を簡単に 勉強できるし、リズムなどの難しい部分を排除して、メロディーの働きをしっかりみつめて学ぶことができます。 現代のメロディー作曲に必要なルールを整理して、自分のメロディー作曲にどう生かしていくかを一緒に考えましょう。 一年間かけて、学習することもできますし、メロディーの基本学習は半年として考えておりますので、 半年でも学習可能です。また、２年目以降はフーガの学習をするので、複数年の履修も可能です。 （例）前期：厳格対位法を元としたメロディー作曲法　後期：ハーモニーを伴ったカノンなどの作曲			
教材・参考書	特になし			
成績評価の方法	作曲の提出作品			
履修上の指示	楽譜を使った授業ですが、楽譜の読み書きも学べる授業ですので、学習初心者でも履修可能です			

〔学科目区分：作曲アレンジ／シンガーソングライター〕

番号：学科目名	24	コードとスケール（ステップアップ）	４単位	通年
指導講師	八巻 綾一			
授業のテーマ	前期はコード（和音）、後期はスケール（音階）について理論と構造を覚えていきましょう。			
授業計画及び内容	前期：コード ▼音の重なり（音程） 「音程」をメインに、ここでしっかりと学んでいきましょう。 ▼「C」とはドミソで構成（3和音） コード表について触れていきます。 まずは「C」～「B」の世界を、しっかりと覚えていきましょう。 基本の構成を理解し、majorとminorコードも学んでいきます。 ▼ドミソシ♭で「C7」など（4和音） 音が重なっていくことで響きが変わっていくことを実感していただきます。 構造を覚えていきましょう。 後期：スケール ■ドレミファソラシドのスケール 長調（major）スケールを中心に、まずは「音階」とは何かを学んでいきましょう。 そして理解ができたら、短調（minor）に進んでいきます。 ■前期で学習した「コード」との関わりなどを学んでいきます。 ■そのほか、様々なシーンで使われる音階の種類についても紹介していきます。			
教材・参考書	各指導講師に準じます			
成績評価の方法	各指導講師に準じます			
履修上の指示	特になし			

〔学科目区分：作曲アレンジ／シンガーソングライター〕

番号：学科目名	25	オーケストレーション（管弦楽法入門）	８単位	通年
指導講師	真島 圭			
授業のテーマ	オーケストラ作品を歴史的に概観し、各楽器への理解を深め、楽譜制作も試みる。			
授業計画及び内容	・オーケストラの諸楽器について ・オーケストラ作品のスコア(総譜)について ・オーケストラの諸編成について ・クラシック音楽の歴史に沿ってバロック・古典派・ロマン派・近代の名曲を楽譜を参照しながら鑑賞 ・小編成から楽譜制作の実習(書きかえ・編曲・作曲) 等の項目を、履修者の希望や状況により考慮しつつ進めていく予定です。			
教材・参考書	授業内で資料配布予定。オーケストラのスコアやオーケストラについて書かれている本は何でも参考にしましょう。			
成績評価の方法	平常点と課題提出			
履修上の指示	楽譜制作に必要な知識(楽典や楽譜作成)をある程度は備えている前提の授業になります。			

〔学科目区分：作曲アレンジ／シンガーソングライター／コンピュータミュージック〕

番号：学科目名	26	DAW・DTM入門	４単位	通年
指導講師	福島 英樹 / 東 佑樹			
授業のテーマ	音楽制作ソフトの基本操作を習得します。			
授業計画及び内容	昨今、音楽業界においてDAW・DTMといわれる音楽制作ソフトの使用は当たり前となりました。 この授業では初心者を対象に、パソコンの電源の入れ方から周辺機材の扱い方、音符の入力（打ち込み）やマイクを使った録音方法などを学びます。 今後の音楽活動にもきっと活かせます。 ※DAWソフトの指定はりません。 《特記事項》 授業が３コマ連続していますが、１人１コマのみの受講となります。 ２コマ以上受講しても単位の重複にはなりません。			
教材・参考書	適宜配布。			
成績評価の方法	出席と授業態度において評価します。			
履修上の指示	ヘッドフォンかイヤフォン、USBメモリー（容量の目安4GB～16GB）、筆記具			

〔学科目区分：作曲アレンジ／シンガーソングライター／コンピュータミュージック〕

番号：学科目名	27	DAW・DTM環境構築	４単位	通年
指導講師	東 佑樹			
授業のテーマ	これから音源制作を始める方に向けた各機材のお話を中心に、PCやDAWをより詳しく学びます			
授業計画及び内容	まずはパソコンの話からはじめ、DTMをやっていくうえで名が挙がる有名な機材、 オーディオインターフェースやヘッドホン、MIDIキーボードやスピーカー等について紹介と説明をして いこうと思います。また外部音源や外部プラグインについても導入や購入手順を簡単にご紹介します。 音源制作において避けては通れないパソコンに関係する用語や拡張子（.wav .mp3など）についても 触れていきます。 この授業では自宅やアパートでも構築できる環境をメインに授業を展開していく予定です。 本格的なスタジオ環境の構築とは少し異なりますので、その点にはご注意ください。 これからDAW・DTMを始めてみたいと思ってる方、今の環境に悩んでる方、コストを抑えて拡張を 検討している方、お気軽に受講してみてください。			
教材・参考書	マニュアル配布			
成績評価の方法	出席と授業態度において評価します。			
履修上の指示	通年になりますがいつからでも履修できます。 持ち物：USBメモリ（任意）　ヘッドホンもしくはイヤホン（任意）			

〔学科目区分：作曲アレンジ／シンガーソングライター〕

番号：学科目名	28	作詞入門	２単位	前期
指導講師	加藤 哉子			
授業のテーマ	初めての作詞			
授業計画及び内容	この授業は、主に初心者の方を対象に、基礎から作詞を学ぶ授業です。 初めはゲーム感覚で発想力を鍛える練習から初めて、 少しずつフレーズに合わせて作っていく作業に移っていきます。 アーティスト自身が歌詞を書くことや、作曲家としてコンペに出す作品でも、 仮歌詞があることが当たり前になっている時代。 シンガーやソングライター希望の方はもちろん、作曲される方でコンペ用の 仮歌詞の作成などに興味がある方、 などなど、最終的にはプロの作曲家が作ったトラックに自分の力で一曲歌詞を 完成させることを目標に頑張りましょう！			
教材・参考書	基本は授業内で画面共有。適宜プリント配布			
成績評価の方法	出席と履修態度、課題提出			
履修上の指示				

番号：学科目名	29	作詞・作曲入門(シンガーソングライター)	4単位	通年
指導講師	坂上 知之			
授業のテーマ	作詞作曲初心者～中級者向けにシンガーソングライターの目線を大切に作詞作曲の基本を指導します。			
授業計画及び内容	楽器はある程度扱えるが、作詞作曲はほぼ経験のない初心者～中級者を対象に、基本の考え方を学びつつ、それぞれが一曲を完成させられること、あるいは完成した楽曲を弾き語り出来るようになることを目標とします。			
教材・参考書	特になし			
成績評価の方法	出席、実技、授業態度			
履修上の指示				

〔学科目区分：作曲アレンジ／シンガーソングライター〕

番号：学科目名	30	作曲・編曲入門(シンガーソングライター)	6単位	通年
指導講師	比留間 徹			
授業のテーマ	楽曲の「レシピ」（コードやリズムアレンジetc.）の基本に触れ、その中から作曲・編曲の方法を学んでいきます。			
授業計画及び内容	まずは普段耳にしている音楽がどのような構造でできているのか、その基本的なところを見ていき、そこから刺激を受けたり、ヒントを得て、それらを自身の作品に活かしていけるようにしていきます。 難しく考えるよりも、取り組むこと、慣れることが大事と考えます。 進行上、理論的なこともこの授業では触れますが、違った角度から見ていくことで身につけることができます。			
教材・参考書	適宜配布			
成績評価の方法	作品と履修態度など取り組み方の積極性			
履修上の指示事項				

〔学科目区分：作曲アレンジ／シンガーソングライター〕

番号：学科目名	31	作曲・編曲入門(ポピュラー)	４単位	通年
指導講師	石渡 裕貴			
授業のテーマ	ジャンルにとらわれない、さまざまなスタイルの音楽のスタイルを学ぶ。			
授業計画及び内容	・様々な音楽のスタイルのリズムや基本パターンの習得、実践。 ・ポップスなどにおけるバンドアレンジ、ブラスやストリングスのアレンジ。 （主にポップスで使われる生楽器の特性、効果的な使い方など） ・楽曲のブラッシュアップ法 （効果的な展開やアレンジの仕方） ・お題を出して作曲 （オーダーを汲み取り作曲する感覚を養う）			
教材・参考書	適宜配布			
成績評価の方法	出席数、提出物により評価。			
履修上の指示	・基本的なコードを習得している。 ・16～32小節程度の短い曲の作曲ができる。			

〔学科目区分：作曲アレンジ／シンガーソングライター〕

番号：学科目名	32	作曲・編曲総合(シンガーソングライター)	４単位 集中講座	通年
指導講師	保科 篤志 / 平泉 光司			
授業のテーマ	J-POPを中心に、その他のジャンルやスタイル全般も含めた総合的な作曲・編曲の授業です。			
授業計画及び内容	まず自分の表現したい音や、フレーズをイメージとしてはっきり認識するところから始めます。 最初に出来た簡単なモチーフから発展させて、一つの曲として完成させるプロセスを学びます。 メロディーの作り方やコードの付け方を学ぶ中で、 コード進行やスケールの基礎的な理論も分かりやすく説明していきます。 曲の構成や形式も学び、最初は指定されたコード進行や構成（形式）をもとにオリジナル作品を作ります。 また指定されたメロディーにコードを付けることもします。 既成の曲の分析も授業内で数多く行ない、そこから得る様々なアイディアを自分の作曲に活かせるようにしていきます。 また、その他種々の細かい作曲・編曲のテクニックに加え、作詞の基本も学び 受講者それぞれの好みのスタイル、オリジナリティー、また専門の楽器を活かし それらを尊重しながら自由な発想の幅広いジャンルやスタイルの作曲を目指します。 優秀作品は学院内での作品発表・コンサートへの参加、レコーディングの参加をお勧めしています。 ※授業内容は各講師により違いがあります。(平泉先生は集中講座になります。日程はポータルサイトでお知らせします) ※前期・後期ともに試験期間やオアシスライブ週間にライブ発表を行います。			
教材・参考書	授業中に配布。			
成績評価の方法	作品と履修態度など取り組み方の積極性			
履修上の指示事項	イヤートレーニング、楽譜の知識、理論は各自でもしっかり学んでください。			

〔学科目区分：作曲アレンジ／シンガーソングライター〕

番号：学科目名	33	作曲・編曲総合（ピアノ・合唱）	４単位	通年
指導講師	園田 優			
授業のテーマ	詞先での作曲。合唱編曲。			
授業計画及び内容	依頼作曲の体験授業として、発注先より送られる歌詞に基づき、詞先でのメロディー作曲を実践。また、作成したメロディーから、合唱編曲（コード付け）やピアノ伴奏作曲を体験する。授業履修生より選出された方は、実際に依頼作曲家として活躍していただき、依頼先の高校生の合唱コンクールの曲として採用される。譜面での提出となるため、ヘ音記号を含めた楽譜を理解出来る方、楽譜を書ける方、楽譜浄書が可能な方が望ましい。			
教材・参考書	特になし			
成績評価の方法	合唱作品を楽譜にて提出			
履修上の指示				

〔学科目区分：作曲アレンジ／シンガーソングライター〕

番号：学科目名	34	作曲・編曲総合(ジャズ)	４単位	通年
指導講師	保科 篤志			
授業のテーマ	作曲とアレンジを基礎的な事から専門的な事まで実践的に学ぶ授業です。 シンガーソングライター、バンドでの活動、作曲家やアレンジャーとしての活動、ジャズミュージシャンとしての活動、 その他どんな形態での活動を目指す人でも総合的に学べます。 主に作曲の経験がある人向けの授業ですが、まだ作曲に慣れていない初歩の段階の人でもしっかり学べる授業で			
授業計画及び内容	まず作曲においてとても重要なコード進行の組み立て方についてしっかりと時間をかけて学びます。また、人の心に残る印象的なメロディーの作り方、それらを適材適所で最も効果的に構成していく方法、何より最初の段階でそれらの事をイメージできるようにどう訓練するかといった作曲の基本であり、一番重要なところでもある事から学びます。 また、作曲やアレンジをする上でのあらゆるシチュエーションで生じる様々な問題、悩みを解決する糸口を自分で見つけられるようにしていきます。 いつも同じ様な曲調になってしまう、次の流れが思い浮かばない、飽きがきやすいなどといった問題に、可能な限り個別にそれぞれの人が直面する問題と向き合えるよう、ディスカッションも含めながら学んでゆきます。 自作の曲は授業内で作品発表をしながら実践的に学びます。 またバンドで演奏する際のそれぞれの楽器の専門的な知識、あらゆる楽器編成のアレンジの方法を様々なジャンルやスタイルの曲にあわせて学んでいきます。 最終段階として編成の中にストリングスオケ、ブラスやサックスセクション、コーラスセクションなどが入る場合まで想定し、それらのアレンジまで出来るように専門的に学びます。			
教材・参考書	プリントを配布します。			
成績評価の方法	学習姿勢。年２回のプロジェクト。			
履修上の指示	作曲中級者対象です。（初心者も可）			

〔学科目区分：作曲アレンジ／シンガーソングライター〕

番号：学科目名	35	作曲・編曲総合(スコアリングと実践)	４単位	通年
指導講師	八巻 綾一			
授業のテーマ	ポピュラリティなフレーズを基本に、実践で活用できる「作編曲」を学びましょう。			
授業計画及び内容	今どきなポップスのサウンドを研究し、ジャズ・R&B・クラシックの技法を用いながら実践で活用できる「作編曲」を学びます。まずは、題材の楽曲の「アレンジ」から挑戦です！参考音源を聴きながらリズムセクションやホーンセクション、ストリングスセクションの使い方など学んでいきます。完成目標としては実際に書いて、さらに「音出し」をしていきます（発表会を予定しております）。 「アレンジ」の学習が終わりその後は、その知識を活かして「作曲」に移ります。フレーズ・曲の構成について研究していきます。授業に楽器の持参をお願いするかもしれません。基本的に座学ですが少しでも音出しの機会を設けて、実際に聴いて感覚を養う事を重視した授業を考えております。 内容 ■参考音源 Michael Jackson、Earth, Wind & Fire、椎名林檎...etc、授業時に発表します！ ■楽曲の分析 構成（Verse, Chorusなど)、主旋律・対旋律・ベース・リズムの分解 ■授業計画及び内容楽器構成 ・ストリングスカルテット等の弦楽器の効果（奏法による表現内容） ・ホーンセクション：編成による変化と効果（奏法による表現内容） ■理論など ・Melodic Structure 例)色々なScale(Penta-Tonic, Blues等) ・Motive Development ・Jazz的なCounterpoint ・etc…			
教材・参考書	プリント配布など予定しております。			
成績評価の方法	授業態度、出席を重視しております。あわせて音出しを講評対象となります。			
履修上の指示	コース等は問いません。アレンジ、作曲を学びたいと考えている方が対象となります。			

〔学科目区分：作曲アレンジ／シンガーソングライター〕

番号：学科目名	36	作詞総合(基本から実践まで)	８単位	通年
指導講師	比留間 徹			
授業のテーマ	歌詞の創作を具体的に講義します。			
授業計画及び内容	歌詞を創作する上で“ひらめき”はとても大切ですが、それだけに頼るとひらめかなければ作品が出来ません。 基本として、テーマの発想の仕方やフレーズの導き出し方等を自分なりに学んで頂き オリジナリティー溢れる作品を、必要に応じて描けるようになって頂ければと考えています。 メロディに言葉を付けてゆく方法やラップミュージックへのアプローチの仕方といった より実践的な講義も行っていきます。 授業は作品を創作する時間を必ず設けて、それぞれにアドバイスをしながら進めていきます。 また既存の歌詞や受講生の作品を、分析及び解説もしていきます。			
教材・参考書	プリント・受講生の作品			
成績評価の方法	課題提出			
履修上の指示	一作でも多く作品を創作してください。			

〔学科目区分：ロック／ポップス／ジャズ／フュージョン／R&B／ラテン〕

番号：学科目名	37	アーティスト養成実践(DTM・作詞・作曲・編曲の基礎講座)	８単位	通年
指導講師	ヒダカトオル			
授業のテーマ	ミュージシャン/音楽プロデューサーによる、DTM/DAWを使用した音源制作や、作詞家、作曲家、編曲家などを目指す上で必要な、楽曲制作の基本となる考え方や方法論を、プロの現場での経験を元に様々な角度から講義/実演します。			
授業計画及び内容	この授業では、初心者から上級者までレベルを問わず、録音物としての音源制作をデスクトップ上で進めるための基本的な考え方や方法をDTM/DAWを通じて学びながら、音楽制作の土台となる、作曲、作詞、編曲など具体的なアンサンブルの構築例、コンピューターと実際の演奏のバランス感などを、過去の名曲を例題に挙げながらポピュラー音楽の基本的な理念を学んでいきます。 ・年度末までに、インターネット上での音源発表を目標に、具体例や様々な方法論を学び、試し、分析し、今後の作編曲に活かしたり、アーティストとして活動していく上で必要な実践、知識などを総合的に授業していきます。 ・音楽ってこんなにも自由で楽しいものだと感じてもらえる授業内容を目指します！！			
教材・参考書	必要に応じて授業内でプリントを配布します			
成績評価の方法	総合評価			
履修上の指示事項	年齢や経験は不問ですが、特定のジャンルよりはポピュラー音楽全般に興味を持つ事でより楽しめる内容になります			

〔学科目区分：作曲アレンジ／シンガーソングライター〕

番号：学科目名	38	アコースティックギター弾き語り	４単位	通年
指導講師	我那覇 美奈			
授業のテーマ	初心者～中級者向けのアコースティックギター弾き語りの実践的なテクニックを指導します。			
授業計画及び内容	ギターのコードぐらいは弾けるという初心者～中級者を対象に、新旧様々な曲を用いて 弾き語りをする時のテクニックや練習法など実践的に行ないます。 ギター未経験の方は「コード入門」や「バンド理論」とあわせて履修してみて下さい。 歌については「ヴォーカル入門」もあわせて履修することを推奨いたします。 最終的には、１Ｆオアシスで弾き語りライブを行なうことが目標です。 （演奏発表予定） 前期・後期、それぞれの最後にオアシスライブを開催			
教材・参考書	資料適宜配布。各自ギター持参。（アコースティックギター）			
成績評価の方法	実技・出席の総合評価。			
履修上の指示事項	音楽療法などの現場でも役に立つ講座です。			

〔学科目区分：作曲アレンジ／シンガーソングライター〕

番号：学科目名	39	ソングライティング	６単位	通年
指導講師	オータケハヤト			
授業のテーマ	J-POPを中心に、その他のジャンルやスタイル全般も含めた総合的な作曲・編曲の授業です。			
授業計画及び内容	まず自分の表現したい音、フレーズをイメージとしてはっきり認識するところから始めます。 最初に出来た簡単なモチーフから発展させて、『０から１』一つの曲として完成させるプロセスを学びます。 ①グルーヴとビートを中心に音楽はできている、ということを中心に学びます。 ②リズムについて、ドラムMIDI、打ち込みのレクチャーを中心に学びます。 ③年代別ジャンルの歴史を学びます。ミュージシャンを料理人に例えるならば、レシピを学びます。 ④受講者それぞれの好みのスタイル、オリジナリティー、また専門の楽器を活かしそれらを尊重しながら 　自由な発想の幅広いジャンルやスタイルの作曲を目指します。個人主義で構いません。 cubase logicなど、個々の使いやすいDAWに対応して行いますので、お気軽にどうぞ。 優秀作品は学院内での作品発表・コンサートへの参加、レコーディングの参加をお勧めしています。 ※授業内容は各講師により違いがあります。 ※前期・後期ともに試験期間やオアシスライブ週間にライブ発表を行います。			
教材・参考書	授業中に配布。			
成績評価の方法	作品と履修態度など取り組み方の積極性			
履修上の指示事項	イヤートレーニング、楽譜の知識、理論は各自でもしっかり学んでください。			

〔学科目区分：作曲アレンジ／シンガーソングライター〕

番号：学科目名	40	音源制作	６単位	通年
指導講師	オータケハヤト			
授業のテーマ	プリプロ音源制作についての授業。			
授業計画及び内容	①ソングライティング授業等で、制作したオリジナルの楽曲を中心に、個々のジャンルによる 　MIX、EQ、ダイナミクス、音作りの為の音源制作を学びます。 　作編曲経験が多彩な人は、持ち曲（パラデータ、ステムデータ持ち込みでもOK。一緒に研究しましょう！ ②インストカラオケ用、シンガーソングライター用、SNS用、歌ってみたMIX師、生バンド音源編曲MIXから 　配信リリース用、オーディション用のデモなど様々な個人のアートワークに寄り添います。 個人の空間を大事にし、やりたいことを形にする授業にしたいと思っております。 ※DAW(音源制作ソフト)は、cubase logic どちらでもOKです。			
教材・参考書	授業中に配布。			
成績評価の方法	作品と履修態度など取り組み方の積極性			
履修上の指示事項	イヤートレーニング、楽譜の知識、理論は各自でもしっかり学んでください。			

〔学科目区分：鍵盤楽器（ピアノ／エレクトーン）〕

番号：学科目名	41	ピアノ初見アンサンブル	４単位	通年
指導講師	富沢 颯斗			
授業のテーマ	初見力・アンサンブル能力の向上を目指します			
授業計画及び内容	連弾や2台ピアノの曲を初見で演奏します。 本授業の流れ ①チェルニー30番練習曲 連弾ver.をウォーミングアップとして実践 ②連弾又は2台ピアノ曲を初見アンサンブル ※毎回の授業で完結するため、練習の必要はありません。 ※初見力、アンサンブル能力は不問です。			
教材・参考書	授業内で指示			
成績評価の方法	出席状況等			
履修上の指示事項				

〔学科目区分：鍵盤楽器（ピアノ／エレクトーン）〕

番号：学科目名	42	ピアノ・音楽基礎知識	４単位	通年
指導講師	富沢 颯斗			
授業のテーマ	楽典、楽曲分析、ソルフェージュを通じて基礎知識の習得を目指します。			
授業計画及び内容	（指導内容の例） 【楽典】 ・音程 ・和音 ・和音の機能 ・非和声音 ・形式 ・教会旋法　　など 【楽曲分析】 ・和音記号を使った分析 ・コード分析 ・分析をもとに演奏に繋げるための考察　　など 【ソルフェージュ】 ・聴音 ・リズム ・即興演奏 ・作曲　　など ※どの科目も予備知識無しでも受講可能です。			
教材・参考書	授業内で指示・五線ノートの持参を推奨します			
成績評価の方法	出席状況等			
履修上の指示事項				